

雨の強さと警戒レベル

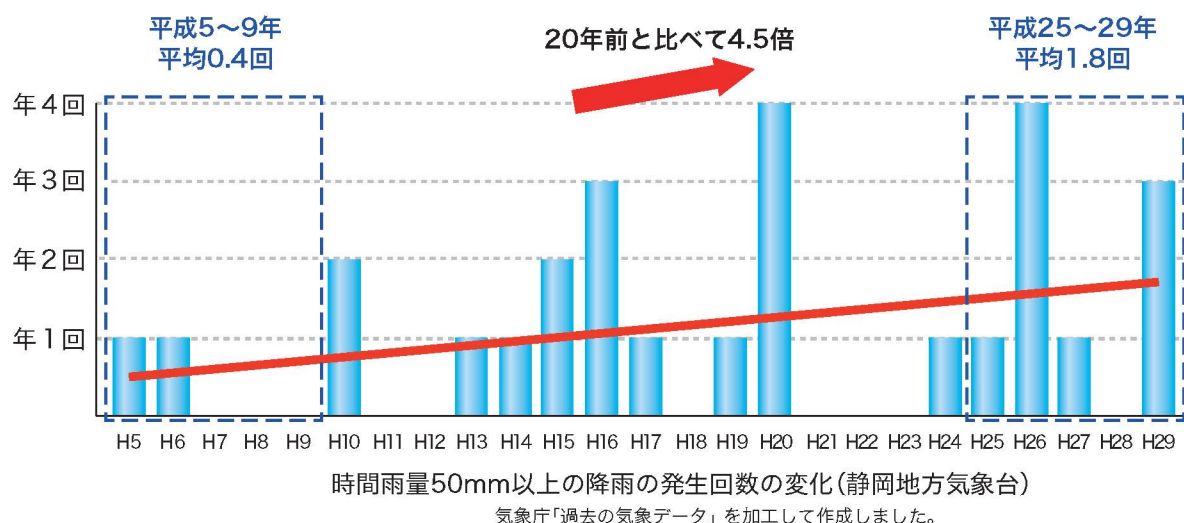
やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
1時間雨量 10~20mm	1時間雨量 20~30mm	1時間雨量 30~50mm	1時間雨量 50~80mm	1時間雨量 80mm~
ザーザーと降る 雨の音がよく聞こえ、地面に水たまりができる場所もあります。	どしゃ降り 傘をさしていても濡れてしまうほどの雨です。	バケツをひっくり返したように降る 河川の水があふれや、崖くずれがこりやすくなります。	滝のように降る(ゴーゴーと降り続く) あたりが水しぶきで白っぽくなります。道路が冠水し、水害発生危険性が高まります。	息苦しくなるような圧迫感がある、恐怖を感じる 大規模な浸水が発生するおそれがあります。場合によっては河川の氾濫のおそれもあります。
注意報・警報の発表基準(静岡地方気象台)	大雨注意報(浸水害)・洪水注意報 平坦地: 3時間雨量 70mm ※ 平坦地以外: 1時間雨量 70mm ※			記録的短時間大雨情報 1時間雨量 110mm 以上
	大雨警報(浸水害)・洪水警報 平坦地: 3時間雨量 110mm ※ 平坦地以外: 1時間雨量 100mm ※			

※現在、注意報・警報の発表は雨量指数等を基準にしています。詳細は気象庁ホームページをご確認ください。記載の雨量は過去の資料から参考として載せています。

- 警戒レベル 5** 大雨特別警報等 緊急安全確保 ▶ すでに災害が発生している状況です。命を守るための最善の行動をとること。
- 警戒レベル 4** 土砂災害警戒情報等 避難指示 **全員避難** ▶ 速やかに避難先へ避難すること。避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や自宅内のより安全な場所に避難すること。
- 警戒レベル 3** 洪水警報・大雨警報等 高齢者等避難 ▶ いつでも避難できるように、準備をしましょう。お年寄りや子供、身体の不自由な人は、避難を始めましょう。
- 警戒レベル 2** 洪水注意報・大雨注意報等 ▶ 避難に備え、ハザードマップ等で、自らの避難行動を確認しましょう。
- 警戒レベル 1** 早期注意情報 ▶ 災害への心構えを高めましょう。

雨の降り方の変化

下のグラフのとおり、最近5年間の時間雨量50mm以上の降雨の発生回数は、20年前に比べて4.5倍に増えています。大雨の発生頻度は確実に増えていますので、日頃からの備えが重要です。



静岡市上下水道局庁「水のキャラクター」しずみ

過去の浸水被害状況

	時間最大雨量 (mm/hr)	総降雨量 (mm)	床上浸水 (戸)	床下浸水 (戸)	被害状況
昭和49年7月 七夕豪雨	76	508	約12,000	約14,000	洪水(外水氾濫)
平成15年7月	112	345	727	1,120	内水氾濫
平成16年6月	82	368	237	627	内水氾濫
平成26年10月	90	471	542	875	内水氾濫

静岡市独自の調査による。(平成26年10月の豪雨については、静岡県が観測している平山観測所のデータ)

昭和49年7月 七夕豪雨による浸水被害状況



清水区江尻町

平成16年6月 豪雨による浸水被害状況



葵区沓谷

平成26年10月 台風18号による浸水被害状況



葵区唐瀬二丁目



清水区高橋三丁目

家庭でできる浸水への備え

■ 浸水に備えて
家の近くの道路側溝や雨水ますなどの点検・清掃にご協力をお願いします。



■ 浸水が発生しそうな時は
出入口や1階の窓の前に土のうや止水板などを置き、家屋への浸水を防ぎましょう。身近な材料を使って浸水を防ぐことができます。



水を入れた袋と段ボール箱なども土のうの代わりになります。



長めの板と土のうで、玄関などから入ってくる水を防げます。